

技能・形態・時間	聞く 個人→ペア確認 3分
この帯のねらい	先生の30秒スモールトーク(今朝のできごと・週末の話)を聞いて、キーワードを3語メモする。「全部聞き取る」のではなく「拾う」聞き方——リスニングの構えを毎時間3分で作る帯。

やり方

毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

1

Pencils ready. Listen and catch three key words!

先生が今日の話を30秒英語で話す(2回目はなし。1回勝負)

2

Write the three words you caught.

聞き取れたキーワードを3語メモ(つづりは適当でOK・カタカナも可)

3

Check with your partner.

ペアで見せ合い、拾った語をすり合わせる(3語そろえば合格)

4

Now, what was my story? Tell me!

先生が「どんな話だった?」と全体に確認→日本語の要約でOK→最後にもう一度英語で聞く

ルール

・「全部聞き取ろう」としない。名詞と動詞を狙って拾う

・メモは3語まで(欲張ると全部逃げる)

・ペア確認では「なぜその語を拾ったか」を言えるとレベル高い

きろく

やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	キャッチできた語数(/3)	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ!

慣れてきたら「話の中の数字を1つ必ず拾う」「気持ちを表す語を拾う」などミッション付きに。学期後半は生徒が話し手に(日直の30秒トーク→クラスがキャッチ)。ALTが来る日はALTの話で——声が変わると難度が上がる。

先生へ(この帯活動の運用)

教師の Teacher Talk を帯として固定するための1枚。台本は不要で、今朝の実話を30秒でよい(実話は繰り返すうちに教師の即興力も伸びる)。既習語を8割・未習語を2割ほど混ぜると「知らない語があっても拾えた」という成功体験が作れる。

ルールの「つづり適当OK」が重要——正しく書くことを求めると、聞くことをやめて書くことに意識が移ってしまう。